

氏名	吉田 隆	部署	健康開発学科(口腔)	職名	教授
研究分野	臨床歯科医学(歯科保存学)、歯科衛生教育学、歯科医学教育				
学位	歯学士、歯学博士				
学歴	1990年東京歯科大学大学院歯学研究科歯科保存学専攻修了				
経歴	1990年東京歯科大学助手、2000年東京歯科大学講師、2000年埼玉県立大学短期大学部講師、2005年埼玉県立大学助教授(後に准教授)、2011年埼玉県立大学教授				
所属学会(役職)	日本歯科保存学会(評議員)、日本歯科医学教育学会、日本歯周病学会、日本歯科医療管理学会、日本歯科衛生教育学会、東京歯科大学学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 該当なし					
(3) 学会発表					
1 歯科衛生士養成専門学校における臨地・臨床実習期間中の学生の就学状況について	共著	第36回日本歯科医学教育学会、松本市	○吉田 隆、有泉祐吾、野口有紀、古澤成博	2017. 7.	
(4) その他					
1 巻頭言 平成29年度第2回理事会・教育研究委員会担当を終えて	単著	全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌、第7号(通算第22号)、1頁	吉田 隆	2018. 3.	
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 埼玉県立大学奨励研究費(C)	高等教育における専門職養成教育の問題と課題(研究代表者)			2017.4～2018.3	
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 臨床歯科医学総論	2017.6～2017.8	口腔保健科学の歯科臨床導入科目として、初心者に理解しやすいよう心掛けた。			
2 口腔保健科学概論	2017.4	口腔保健科学の導入科目として、本専攻における4年間の教育内容の概略を説明し、モチベーションの向上を心掛けた。			
(2) 演習					
1 保存系歯科学Ⅰ	2017.4～2017.8	保存修復学について教授した。日進月歩の歯科材料に対応すべく、なるべく最新の保存修復学となるように心がけるとともに、修復学の沿革の観点から、現在ではほとんど使用されない修復法についても教授した。			
2 保存系歯科学Ⅱ	2017.10～2018.2	本科目では歯髄や根端性歯周疾患などに関わる病変と処置法などについて解説した。実際の歯科臨床現場での症例等も混じえながら、学生の理解度を高めるよう工夫して行った。			
3 保存系歯科学Ⅲ	2017.4～2017.8	歯科衛生士の予防処置業務と密接な関連がある本科目では、歯科衛生士が歯科臨床の歯周治療とどの様に関わり実践できるかに重点をおいて解説した。			
4 チーム歯科医療学Ⅳ	2017.10～2017.11	歯科社会保険学の部分を主として担当した。本科目の直後から臨地・臨床実習が始まることから、特に実習施設で必要な事項の理解に努めた。			
(3) 実習					
1 チーム歯科医療学Ⅲ	2017.10～2017.11	臨床実習の前段階として、実際の臨床で行う歯科診療補助に関する実習を行った。しかしながら限られた時間数のため、数多い診療補助項目の中から代表的なものに限られた。			
2 臨地・臨床実習Ⅰ	2017.10～2018.3	3年次における実習前の学内ガイダンスや実習先での学生指導引率を行った。また登校日には、学内でのカンファレンスを担当した。			

3	臨地・臨床実習Ⅱ	2017.6～2018.3	実際に複数の実習施設に出向き巡回ならびに直接学生指導を行った。さらにそれぞれの実習施設において、休憩時間や実習終了後も学生の相談に応じられるように極力学生と接触する時間を多くとるように配慮した。
4	臨地・臨床実習Ⅲ	2017.4～2017.7	複数の学外実習施設への巡回を行い、学生の実習状況把握に努めるとともに、実習施設指導者との連絡調整を行った。
5	臨地・臨床実習Ⅳ	2017.4～2017.11	4年次における実習前の学内ガイダンスや実習先での学生指導引率を行った。また登校日には、学内でのカンファレンスを担当した。
6	臨地・臨床実習Ⅴ	2017.4～2017.12	担当する学外実習施設への巡回を行い、学生の実習状況把握に努めるとともに、実習施設指導者との連絡調整を行った。
7	ヒューマンケア体験実習	2017.5～2017.10	担当施設との事前打ち合わせや学生へのオリエンテーション、実習期間中の施設への訪問に加え、リフレクション時における学生指導など、グループおよび個人に対する指導に努めた。
(4) 論文指導			
1	学部 卒業論文	2017.4～2018.1	3名の学生を担当し、中間発表会を含めて、最後の提出まで指導した。
(5) その他			
1	学生アドバイザー	2017.4～2018.3	1～4年次混合編成のアドバイザーグループの担当として、学生指導を行った。
2	就職支援活動	2017.11～2018.3	大学病院就職志望の学生に対し、就職活動の支援ならびに助言を行った。
3	非常勤講師担当科目の教育支援	2017.4～2018.3	非常勤講師が科目責任者である2科目について、学内担当として連絡調整を含め運営を行った。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	全国大学歯科衛生士教育協議会	理事	2011～現在
2	全国大学歯科衛生士教育協議会	副会長	2017～現在
3	全国大学歯科衛生士教育協議会教育・研究連絡委員会	委員	2008～現在
4	全国大学歯科衛生士教育協議会編集委員会	委員	2015～現在
5	埼玉県歯科保健推進委員会	委員	2012～現在
6	東京歯科大学水道橋病院歯科臨床研修医管理委員会	委員	2006～現在
7	特定非営利活動法人日本歯科保存学会	評議員	2015～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	健康開発学科口腔保健科学専攻専攻長		
2	口腔保健科学専門科目担当者会会長		
3	教育開発委員会委員(健康開発学科口腔保健科学専攻)		
4	教務運営部会長		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	日本歯科保存学会保存治療専門医、日本歯科保存学会保存治療指導医、歯科医師臨床研修指導医、東京歯科大学水道橋病院臨床准教授		